

(連絡先)

〒213-0033 川崎市高津区下作延4-22-12-411

電話&FAX 044-877-6317

ホームページ <http://www.horizoe.com>

電子メール horiken@horizoe.com

引き続き増加する高津区の人口

(事務局)

全国的には2006年から人口減となっていますが、川崎市ではまだ人口が増えているそうですね。

(堀添)

はい。10月1日現在の川崎市の人口は約143万人で、前年同月よりも0.37%増えています。高津区についても同様で、現在の区民数は約22万人、やはり前年同月と比べ0.85%増加しています。

昨年発表された「将来人口推計」では、この傾向はまだ20年近く続くと見られており、ピークとなる2030年には、川崎市の人口は151万人程度になると予測されています。高津区については、2035年まで増加傾向が続く見込みで、ピークには23万6千人と、現在よりもさらに1万6千人程度増えると考えられています。

(事務局)

人口が増えると、市政にどんな影響が出てくるのですか。

(堀添)

人口が増えること自体は、基本的にその都市の活性化につながります。とくに川崎市や高津区の場合、子どもを育てている現役世代の社会増が多いため、税収面ではプラスの影響となります。

しかし他方で、行政サービスのニーズも高まります。たとえば、認可保育所に入る資格があるにもかかわらず、施設が不足するために入所できない「待機児童数」は、今年度は減少したものの、まだ高い状況となっています。

とくに、これからお年寄り向けの行政サービスについても、ニーズが急速に高まっていくものと思われます。先ほど、川崎市全体では今後8万人程度人口が増えるとお話ししましたが、65歳以上のお年寄りは約10万人、そのうち75歳以上のお年寄りは約8万人増えると予測されています。現在75歳以上の方は約10万人ですから、2倍近くに増えることとなります。

他方で、主要な納税者である現役世代は、今後横ばいとなりますので、税収の自然増はあまり期待できません。

(事務局)

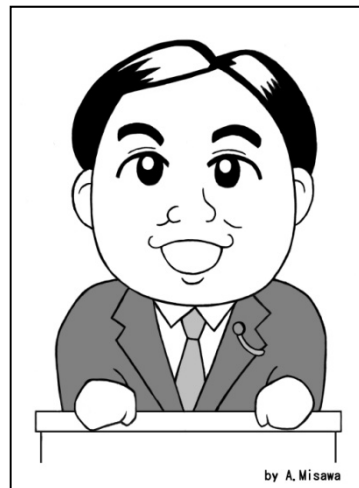
やはり楽観視はできませんね。

(堀添)

そうです。今までのやり方では、もう持続できないことは、多くの方々も感じられていると思います。川崎市においても、残念ながら問題を先送りできる余裕はなく、行政と市民の新しい関係を作らなければなりません。

(事務局)

ありがとうございました。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブニーレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 幹事長
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住



いまだ厳しい 東日本大震災の被災地

前川崎市議会議員 堀添 健

3月11日の東日本大震災から半年が経過しましたが、被災地はいまだに厳しい状況が続いています。先月、太平洋沿岸部を訪れたところ、瓦礫は撤去されていたものの、復旧・復興にはまだまだ時間がかかることを実感しました。地震などの大規模災害が起きると、消防や行政などの支援が始まるまでには時間がかかります。今回の震災でも、概ね被災後一週間は、地域の中で問題に対処しなければならない状況でした。



たとえば、だれが被災し救援が必要なのかという基本的な情報でさえ、地域コミュニティの方々が一軒一軒歩いて確認しなければ、わからなかったのです。

改めて、日ごろからの地域コミュニティの大切さを痛感いたしました。

中央の建物の向こう側で海面から顔を出しているのが旧海岸線の松並木。手前は鉄道の跡で駅舎は跡形もなく無くなったまま。

川崎市における放射線測定結果(11月25日現在)

浄水場：川崎市内の4か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っており、4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

大気：公害研究所（川崎区）、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。（10月は6日、7日に実施）

市内農産物：果菜類（トマト、きゅうり）、根菜類（さつまいも、大根、玉葱）、果実（梅、梨、柿）の出荷前チェックでは、5月に梅（セシウム：29.5ベクレル）、10月に柿（セシウム：4.5ベクレル）から検出された以外は、検出されていません。（食品衛生法上の暫定基準値は500ベクレル/Kg以下）

農用地土壌：多摩区の畑（露地）で9月に県が実施した土壌調査では、127ベクレル/Kgのセシウムが検出されました。（食品衛生法に基づく上限値は5,000ベクレル/Kg）

政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294